

平成28年度第2回大石田町入札監視委員会会議録（定例会議）

開催日時	平成28年11月16日（水） 午前10時～10時50分
開催場所	大石田町役場 2階「庁議室」
出席委員	委員長職務代理 伊藤 三之 委員 吉田 郁夫 委員 鈴木 喜左夫
事務局出席者	二藤部総務課長、和田財政主査、佐藤主任
関係課出席者	間宮建設課長、鈴木建設主幹、小玉管理主査

議事概要

1. 開会	二藤部総務課長の進行で開会する。（午前10時）
2. あいさつ	伊藤委員長職務代理が挨拶を行う。
3. 議題（委員長職務代理が議長となり、議事を進行する。）	
（1）建設工事等の入札・契約手続きの運用状況等について	
事務局	発注工事総括表及び発注事業一覧表、指名停止一覧表に基づき、平成28年4月から平成28年9月までに発注した建設工事及び建設工事関係の業務委託、指名停止の状況について説明する。
委員	発注事業一覧表について、これまでの上半期、下半期の入札件数を比較すると、建設課の件数が上半期と下半期で差があるが、年間で均等に発注しているのでしょうか。また、全体の件数が平成28年度上半期はこれまでと比べて少ないですが、大規模事業を実施しているなど予算的な問題で少なくなっているのですか。
担当課	建設課としては、この地域が雪国であるため、早期発注により降雪期前に工事を終わらせたいということで、年内の完成を目指して前倒しで発注しています。
委員	国は、できるだけ発注時期を平準化しようとして取り組んでいます。工事の発注を平準化して冬でも工事ができればいいと思いますが、なるべく雪のない時期に工事を行うことは、全体的に同じような傾向にあると思います。
事務局	財政面で言うと、大規模事業の目途がつくまでは、その予算を確保することから他の事業をある程度抑制しているので、少なくなっていると思います。
委員	業務委託契約について、同じ設計会社が多く落札しているが、業務的には可能なのですか。
担当課	特に4月ですが、同じ日に4件の入札を行い、4件とも同じ業者が落札しています。発注する側としても、業務的に可能なのか心配はありましたが、内容も難しい設計業務ではなく、金額も小さい、単純な設計業務であり、業務についても工期内に全て完了しておりますので、このくらいの業務量は十分にこなせる力はあるのだと思います。
事務局	継続事業で実施している工事の設計業務であり、現場の情報を多く持っていることも落札できる要因だと思います。
（2）抽出事案の審議について	
事案抽出者より、抽出の理由などを説明	
抽出事案①：町道里線舗装補修工事	

担当課	担当課である建設課が、審議事案説明書及び入札調書、図面等関係資料に基づき、事業概要、手続きの経過、金額等について説明する。
担当課	落札率が99.8%と高いということですが、工事の内容が舗装補修工事で、特に今回の工事については単純に今ある道路の上にアスファルトを被せるだけの内容で施工しています。工種も一つであり、設計も非常に簡単なものとなっています。舗装の面積に単価をかける形で、積算ソフトを使うとだいたい近い金額になると思います。
委員	この舗装補修工事についても、工事に先立って設計業務を発注しているのですか。
担当課	この工事については、単純な設計であるので、設計の業務委託は行っておりません。面積も、測量を行ったものではなく、道路台帳を基に計算しており、発注後に、路肩の高さを合わせる必要があることや延長が若干伸びたことにより、変更契約を行いました。
委員	特殊な事情があったわけではなく、通常でもあり得る内容の変更契約ということなのでですね。
委員	発注事業一覧表と抽出事案で確認ですが、抽出事案では5社で指名競争入札を行っています。別の舗装補修工事は、金額も大きいですが、7社で指名競争入札を行っています。これに関連して、業者を指名する際の考え方について教えてください。
担当課	2つの舗装補修工事の入札は全く別の業者となっています。抽出事案については、町内5社を指名しました。これについては、金額も小さく単純な舗装補修であることから、町内業者を指名しました。もう一つの工事については、現在の舗装を取りその下の路盤も取って、もう一度きちんと締め固めを行って舗装を行う工事です。金額的にも1,500万円で、県の発注基準なども参考に、舗装工事で1,000万円から3,000万円までは県の入札参加資格者名簿のAランク・Bランクの格付け業者から指名していることから、近隣で実績のあるAランクBランクの業者、町内にBランクの業者があったので、その業者も含んで指名競争入札を行いました。
委員	競争性は確保されているということによろしいですね。
委員	何社による指名競争入札を行うかなど、入札の際に町では一定の基準はありますか。
事務局	工種や金額、規模などにより、一定の基準を設定して指名競争入札を行っています。
抽出事案②：町道上北原線外凍雪害防止（流雪溝）工事	
担当課	担当課である建設課が、審議事案説明書及び入札調書、図面等関係資料に基づき、事業概要、手続きの経過、金額等について説明する。
委員	どのように流雪溝を使用していくのか、水の流れと今回整備する導水管の関係について、事業の内容を詳しく教えてください。
担当課	国が整備した第一着水槽まで最上川から水をくみ上げ、そこから県道、町道に水を流します。今年度の工事については、県が県道への流雪溝整備を行っています。町では、町道まで水を送るために導水管を敷設しております。県道部分は県で流雪溝を整備し、町道部分は町で流雪溝を整備するため、町道まで水を運ぶために県道に導水管を敷設する必要があるので今年度施工しております。
委員	県道の流雪溝整備はまだなのですか。
担当課	現在工事中です。水源は同じですが、県道には第一着水槽から直接水が流れます。県道から分水するためには高さが合わないの、町道は導水管で水を持ってくることになります。

委員	今年度の県の工事の進捗状況はどうか。
担当課	県道は、現在東側の流雪溝を施工しており、予算の関係もありますが、東側の流雪溝が全部つながる見通しとなっています。
委員	町は来年度に工事を実施するのですか。
担当課	これまで部分的に流雪溝を敷設しておりますが、来年度以降はそれをつなぐこととなります。
委員	工事の内容は下水道工事のようなものですが、業者の選定についてはそのような実績等も加味しているのですか。
担当課	今回指名した業者は下水道の工事なども実績があり、もちろん流雪溝についても同様であるので、そのようなことから今回は町内業者を指名しました。
(3) その他	
6. その他	
事務局	<p>次回の入札監視委員会については、開催日を決めさせていただき、平成29年5月24日(水)午前10時から開催いたします。</p> <p>また、次回の事案抽出は、事務処理要領により委員長を除く委員の50音順となっていますので、鈴木委員になります。発注事業一覧表をまとめ次第お送りしますので、よろしくお願いいたします。</p>
7. 閉会 (午前10時50分)	